

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年9月30日(2021.9.30)

【公開番号】特開2020-48704(P2020-48704A)

【公開日】令和2年4月2日(2020.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2020-013

【出願番号】特願2018-179193(P2018-179193)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和3年8月23日(2021.8.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が流下可能な遊技領域を備え、前記遊技領域に設けられた始動入賞口への遊技球の入賞に基づきゲームを実行し、当該ゲームの結果が特別結果となった場合に、遊技者に有利な状態を発生する遊技機において、

遊技を統括的に制御する遊技制御手段と、

遊技の演出を制御する演出制御手段と、を備え、

前記遊技領域は、

一側の遊技領域と他側の遊技領域とを備え、遊技者が遊技球の発射勢を調整することで前記一側の遊技領域と前記他側の遊技領域のいずれに遊技球を流下させるかを選択可能に構成され、

前記遊技制御手段は、

複数の遊技状態のうちから一の遊技状態を設定可能であり、所定の移行条件が成立することに基づき遊技状態を移行するよう構成され、

各遊技状態については、前記一側の遊技領域と前記他側の遊技領域のいずれに遊技球を発射することで遊技を進行するかが予め定められており、

前記演出制御手段は、

特別結果となる一の前記ゲームに関連する演出として特定演出を実行する複数の演出パターンのうちから一の演出パターンを選択して実行することが可能であることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記演出制御手段は、

設定された前記遊技状態に対応して遊技球を発射すべき遊技領域を指示する発射方向指示報知を実行可能であることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、遊技機に関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来、遊技機の代表例としてパチンコ機がある。このパチンコ機では、遊技領域に設けられた始動口に遊技球が入賞すること（始動入賞）に基づいて、遊技領域に設けられた変動表示装置に表示される複数の識別情報（図柄、記号など）を変動表示する変動表示ゲームを開始し、所定時間経過後に停止した複数の識別情報の態様が予め定められた特別結果態様であった場合には、遊技者に多くの賞球を払い出す特別遊技状態となるものがある（例えば、特許文献1参照）。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明の目的は、遊技の興趣の低下を防止することである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

以上の課題を解決するため、請求項1に記載の発明は、

遊技球が流下可能な遊技領域を備え、前記遊技領域に設けられた始動入賞口への遊技球の入賞に基づきゲームを実行し、当該ゲームの結果が特別結果となった場合に、遊技者に有利な状態を発生する遊技機において、

遊技を統括的に制御する遊技制御手段と、

遊技の演出を制御する演出制御手段と、を備え、

前記遊技領域は、

一側の遊技領域と他側の遊技領域とを備え、遊技者が遊技球の発射勢を調整することで前記一側の遊技領域と前記他側の遊技領域のいずれに遊技球を流下させるかを選択可能に構成され、

前記遊技制御手段は、

複数の遊技状態のうちから一の遊技状態を設定可能であり、所定の移行条件が成立することに基づき遊技状態を移行するよう構成され、

各遊技状態については、前記一側の遊技領域と前記他側の遊技領域のいずれに遊技球を発射することで遊技を進行するかが予め定められており、

前記演出制御手段は、

特別結果となる一の前記ゲームに関連する演出として特定演出を実行する複数の演出パターンのうちから一の演出パターンを選択して実行することが可能であることを特徴とする。